

⑤⑥諸塚村のジビエ解体処理施設

【特徴的な取組み】

- 罠もしくは猟銃で仕留めた獲物を捕獲現場で血抜きを行い、そのまま施設に搬入。
- 持ち込んだ猟師自身が解体し、自家消費するとともに、村内の「もろっこはうす」(特産品販売所)へブロック肉で持ち込み、商品化して同店で販売。
- 宮崎市内等料理提供業者にも積極的に販売。

【施設整備に至った経緯】

- 猟師の自家消費分として利用していたが、近年の捕獲頭数の増加により、自家で消費しきれないシカやイノシシを廃棄していく状況が発生。



- 消費しきれない肉を食肉として加工し、販売していくことを決意。
 - 平成23年 ⑤七ツ山解体施設竣工
 - 平成28年 ⑥諸塚解体所竣工
- (【国】平成27年度鳥獣被害防止総合対策交付金を活用。)



※⑤七ツ山解体施設



※⑥諸塚解体所

【施設概要】

⑤七ツ山解体施設

代表者 : 橋本 徳光
所在地 : 諸塚村七ツ山2407-8
取扱獣種: シカ、イノシシ
猟友会 : 6名

⑥諸塚解体所

代表者 : 矢高 幾繁
所在地 : 諸塚村大字家代4458
取扱獣種: シカ、イノシシ
猟友会 : 12名

【お問合せ先】諸塚村役場産業課

TEL: 0982-65-1128

住所: 宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代2683